

8/7 「姉妹」で思い出作り 箱根町の中学生が来町

姉妹 妹都市提携を結んでいる神奈川県箱根町の中学生親善訪問使節団が来町しました。

役場で行われた歓迎式では、生徒5人が訪問中にやりたいことを発表し、7月に箱根町で交流した洞爺湖町の中学生使節団との再会と思い出作りなどを挙げました。

使節団を代表し、箱根中の小澤桃果さんが、勝俣浩行箱根町長からの親書を八反田稔副町長に手渡しました。



親書を手渡す箱根中の小澤さん

7/29 美声で聴衆を魅了 異色の歌手響宴 in 洞爺

演 歌やシャンソンの歌手が出演する「異色の歌手響宴 in 洞爺」が、洞爺湖文化センターで行われました。

開演と同時に舞台上上がったのは、シャンソン歌手のNAO MIさん。豊かな声量で会場の隅々まで歌を響かせ、コンサートを盛り上げました。

他にも民謡歌手の三代目今井篁山さんなど多彩なジャンルの歌手が登場し、訪れた聴衆の耳を楽しませていました。



歌声を披露する出演歌手

8/15 争いの無い世界のために 戦争を語り継ぐ集い

終 戦記念日の8月15日、戦争を語り継ぐ集いが役場本庁舎で行われました。地域の小学生などが参加し、始めに原爆投下の被害を学ぶDVDを上映。被ばくの恐ろしさを知った児童は「戦争は怖いということがよくわかりました」など感想を発表しました。

続けて、原爆が投下された広島、長崎に送り届けるための千羽鶴を制作。非戦の祈りを込めながら一羽ずついいねいに折っていました。



千羽鶴を作る参加者

8/8 温泉街の発展を祈願 薬師の日湯かたまつり

薬 師の日に当たる8月8日、薬師の日湯かたまつりが、洞爺湖温泉地区の足湯ポケットパークで行われました。

始めに行われた祈願法要は、湯前薬師如来奉賛会の関係者など約20人が参列し、温泉街の発展を祈願しました。奉賛会の朝倉英隆会長は「地域の大切な祭りなので、これからも守っていきたいです」とあいさつしました。湯かたまつりの会場には焼き鳥などの縁日らしい匂いが漂い、大勢でにぎわいました。



温泉街の発展を祈った薬師の日の法要

8/25 道外の縄文文化を学ぶ
縄文講演会

宮 城県東松島市の縄文遺跡、里浜貝塚について学ぶ縄文シティサミットプレイベントの縄文講演会が、入江・高砂貝塚館で行われました。

講師を務めた奥松島縄文村歴史資料館の菅原弘樹氏は「里浜貝塚は松島湾沿岸にあり、この土地は縄文前期に形作られてから大きく変わらず今に続いています」と説明しました。縄文人の豊かな生活を支えた要因に安定した自然環境があったとし、参加者も解説に聞き入っていました。



里浜貝塚について学んだ縄文講演会

8/22~29 戦争を学んで平和を守る
戦争と平和展

戦 時中に使われた物品や写真を通して戦禍を伝える戦争と平和展が、役場本庁舎で行われました。

出征する兵士のために作られた「出征旗」や、原爆の被害で亡くなった人々の写真などが展示され、戦争の悲惨さを来場者に訴えました。

イスラエルの侵攻で多数の市民が犠牲になっているパレスチナの子どもたちが描いた絵も飾られ、今なお続く戦禍を伝えました。



展示されたパレスチナの子どもの絵

8/31 地域の防災力を高める
本町6区自治会で防災教室

本 町6区自治会（野田憲昭自治会長）で防災教室「学ぼう親子で防災」が開催されました。自治会役員と親子約10人が参加し、町職員の講演、段ボールベッドの組立て、非常食の試食などを行いました。

段ボールベッドの組立てでは、すでに学校の授業で体験していた子を中心に、全員で協力して組み立てていました。最後には防災グッズのプレゼントがあり、楽しみながら防災について学ぶことができました。



段ボールベッドを組み立てる子どもたち

8/28 性差を考えた避難所運営を
男女共同参画講演会

洞 爺湖町教育委員会の男女共同参画講演会が、役場本庁舎で行われました。道防災教育アドバイザーの住友静恵さんが講師を務め、災害時の避難所運営について能登半島地震の事例を交えて説明しました。

食事の準備などが女性に集中し、睡眠時間が少なくなったケースを紹介し、男女共同参画の意識の欠如を指摘。「一人ずつの得意を生かすことが大切です」と話し、防災に多様な観点を取り入れるよう呼び掛けました。



今後の避難所運営について解説する住友さん